

小水力発電による売電収入を土地改良施設等の維持管理費に充当し、農家の負担を軽減

<概要>

- ・ 発電所の名称：高瀬発電所（富山県南砺市）
- ・ 事業主体：庄川沿岸用水土地改良区連合
- ・ 最大出力：199kW
- ・ 年間発電可能量：約118万kWh
（一般家庭280世帯分の電力に相当）
- ・ 最大使用水量：2.68m³/s ・ 有効落差：8.73m
- ・ 運転開始時期：H26年12月（電力会社へ全量売電）
- ・ 総事業費：2億円



水中タービン発電機



<特徴的な取組>

- ・ 庄川から取水した農業用水を利用した小水力発電所。
- ・ 発電に利用する庄川左岸共同水路は、用水取水箇所から調整池まで圧力式の水路となっており、同発電所は、この落差を利用して共同用水路が有する水力を活用。
- ・ 同発電所建設に係る費用は、全て地元負担。
- ・ 発電した電力は、全て電力会社に売電し、得られた売電収入は、土地改良区が管理する農業水利施設の管理費に充当し、農業者の負担軽減を図っている。
- ・ 年間約650トンの二酸化炭素削減効果が見込まれ、地球温暖化防止にも寄与。

高瀬発電所(全景)



※一般に1kWhの水力発電で0.555kg程度の二酸化炭素が削減。